

長野県植物研究会第 207 回及び 208 回例会の報告 その 1

大塚 孝一 *

第 207 回及び 208 回例会（2014 年 9 月 6 日～7 日）は、木曽町幸沢川沿いと王滝村うぐい川沿いで行われました。幹事：大塚孝一・蛭間啓。

1 日目 207 回の参加者は、池野嵩、市川栄一、小口好久、大塚孝一、神林清文、小林正明、坂口竣弥、佐々木あや子、佐藤稔、島野光司、島野理恵、多田景子、千葉悟志、堤久、坪井勇人、中山洸、早坂祥彦、蛭間啓、藤田淳一、星山耕一、宮島陽子、吉沢敏江（以上宿泊懇親）、上野勝典、上野由貴枝、楯誠治（25 名）。宿泊は、王滝村の「大又山荘」でした。

2 日目 208 回の参加者は、池野嵩、市川栄一、小口好久、大塚孝一、神林清文、小林正明、坂口竣弥、佐々木あや子、佐藤稔、島野光司、島野理恵、多田景子、千葉悟志、堤久、坪井勇人、中山洸、早坂祥彦、蛭間啓、藤田淳一、星山耕一、宮島陽子、吉沢敏江、篠原喜運、戸谷彌生、井浦和子、桜井智子、松田貴子（27 名）。

1 日目は午後 1 時に木曽町の長野県木曽合同庁舎に集合し、そこから移動して福島から開田高原に行く国道 361 号線から右手の幸沢川へ入り、浄水場近くに車をとめて沢沿いに往復して植物を観察しました（写真 1）。何台も車を止めていたため、通報されたのか、1 台のパトカーが来て様子を聞かれました。怪しくないと思われて良かったです。

王滝村の宿舎「大又山荘」に到着し、夕食後は二次会と夜の勉強会となり、3 名の発表がありました。まず、小林正明氏（写真 2）から植物の実生のいろいろの形態についての発表を聞きました。種子から育てて、その成長過程などの興味深いお話が聞けました。多くの会員へ種子の提供も依頼されました。宮島陽子氏（写真 3）からは留学している韓国の最近の状況や登山事情などを聞くことができました。藤田淳一氏（写真 4）から、最近ハマっている植物について、特にササ属やアザミ属、オオバセンキュウの説明などを詳しく話していただきました。皆さんお酒もけっこう入っていたにもかかわらず、良い勉強ができました。

2 日目は朝、当日の参加者を加え大又山荘前で集



写真 1 植物観察の様子



写真 2 小林正明氏



写真 3 宮島陽子氏

* 大塚孝一 〒380-0952 長野市宮沖 199-1

合写真（写真5）を撮った後、車で移動し、うぐい川出合の貯木場近くの広場に車を止めました。当初予定した白川治いではなく、うぐい川の林道沿いを観察しました。昨日同様にキリシマミズキやマルバノキといった植物が出現しました。昨日は見られなかったハスノハイチゴやアカヤシオ（写真6）も見ることができ、また、はっきりとしたオオキンミズヒキ（写真7）も観察されました。昼食を食べて、2時頃の解散となりました。植物リスト等の詳細は、藤田淳一さんの報告参照（例会報告その2）。



写真4 藤田淳一氏



写真5 大又山荘前での集合写真



写真6 おお、アカヤシオ



写真7 これが、オオキンミズヒキ